



令和6年(2024)11月発行
宇部市立原小学校 学校図書館

11月になり、ようやく秋らしくなりました。しかし、暦の上では「立冬」、いよいよ冬のはじまりですね。暗くなるのも早くなり、寒さも増してきます。こんな時期には、温かいお家で心温まる本を読んで、心も体もあたたまりませんか。また、あまり知られていませんが、11月30日は「絵本の日」です。

移動図書館「青空号」が来てくれました。

11月12日、宇部市移動図書館「青空号」が原小学校に来てくれました。今年は例年より暖かいおかげで、秋の心地よい空気を感じながら、気持ちよく本を借りることができました。



1学期の時には、どきどきしながら本を借りていた1年生ですが、今回は上手にじっくり本を選んで借りることができました。どの学年の子どもたちも楽しく本を選んでいました。



図書委員による「図書クイズ」を行っています。

図書委員が「図書クイズ」を作成し、全校のみんなに解いてもらっています。クイズは本の題名を当ててもらうもので、低、中、高学年ごとに問題を変えて、それぞれ、正解率が高いクラスには賞状を渡します。

11日に各クラスにクイズの説明を行いました。締め切りは21日です。



該当する本のクイズの表紙です。どんな本なのか、ぜひ、ご家庭で話してみてください。

お話し まちがい探し

『りゅうの目のなみだ』

ひとりの子どもが、山の中にすむりゅうに会いに行きます。話をしていると、りゅうの目に光るものが見えました。下の2枚のイラストには、5つのまちがいがあります。いくつ見つけれられるかな？



まちがい探しの答え

『りゅうの目のなみだ』



①足 ②きばの数 ③ウロコの向き ④子ども ⑤枝の長さ

〈今回の激ムズポイント〉

正

誤



すべて答えられたかな？

日本・世界の お話しカード

こわいといわれるりゅうと話してみると……。

『りゅうの目のなみだ』

はまだひろすけどうち
浜田広介童話

ある国に、山の中にとてもこわいりゅうがすんでいるという言い伝えがありました。だれもがこわがっていました。ある時、りゅうをこわがらない不思議な子どもが現れます。その子どもは、自分の七つの誕生日にりゅうを家に呼びたいと言いますが、当然周囲

からは反対されます。そこで、子どもはひとりでりゅうに会いに行くことにします。山を歩き続け、すみかたどり着くと、人を見ておどろくりゅうに語りかけます。「ぼくの誕生日に家に来ておくれ」初めてやさしい言葉を人間にかけてもらったりゅうの目から、なみだが流れました。人のやさしさにふれたりゅうは、なみだで川を作ります。流されそうになった子どもを守るために、りゅうは船となり、町へとおりていくのでした。

※このお話は、集英社や世界文化社などから出ています。